



●八千代の人口 19万5,884人(+40人) 男 9万7,093人(+20人) 女 9万8,791人(+20人) ●八千代の世帯 8万5,453世帯(+77世帯) 11月末現在。()内は前月比

どーもくんが八千代にやってきました!

NHK「みんなDEどーもくん!」公開収録

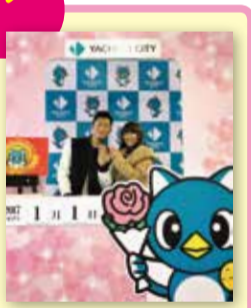


▲会場は収録を心待ちにしていた親子連れでいっぱい。出演者の動きに合わせて一緒に体を動かす子どもたちの姿が見られました

NHK・BSプレミアムで放送中の子ども向け番組「みんなDEどーもくん!」。八千代市制施行50周年を記念して、同番組の公開収録が12月4日に市民会館で行われ、親子992人が参加しました。ステージにおなじみのキャラクターたちが登場すると、子どもたちは手を振ったり立ち上がったりと大はしゃぎ。どーもくとその仲間たちが繰り広げるお芝居やパフォーマンスを大いに楽しみました。チャーリー西村さんによる科学実験では、静電気の力を利用してテープを魔法のように浮遊させる実験を実施。大人からも歓声が上がりました。当日の様子は3月14日(火)午前6時と午後6時からNHK・BSプレミアムで再放送されます。

記念撮影用フォトブース 市役所1階ロビーに設置

市役所1階ロビーに記念撮影用のフォトブースを設置しました。ぜひご利用ください。
(広報広聴課)



3つの青年館が自治会の集会所に 4月1日(土)からは地元で貸し出します

これまで市が管理運営してきた勝田・小坂橋・下町の3つの青年館は、4月1日(土)以降地元自治会の集会所となり、勝田区、小坂橋連合町会、下町町内会の各自治会が所有者となつて管理運営していくことになりました。公の施設としての利用は、3月31日(金)までです。4月1日以降の貸し出しは、各自治会にお問い合わせください。なお、阿蘇青年館は4月1日以降、取り壊す予定です。
(青少年課)



市内で撮影された映画 『新宿スワンII』が 1月21日(土)から公開

昨年2月、映画『新宿スワンII』の撮影が、新川周辺・なかよし橋で行われました。この作品は、和久井健さんの漫画「新宿スワン」の実写映画として、2015年に公開された『新宿スワン』の第二章で、園子温監督がメガホンを取りました。

撮影現場では、主演の綾野剛さんや広瀬アリスさんが終始和やかな雰囲気の中で撮影に臨んでいました。映画は1月21日(土)公開予定です。市内ではT.O.H.O.シネマス八千代緑が丘で上映されます。
(観光推進室)



▲なかよし橋を渡る綾野剛さんと広瀬アリスさん

1月17日(火)に市ホームページと やちよ情報メールで緊急災害時テストを実施

1月17日(火)午前、市役所庁舎で震災を想定した災害対応訓練を行います。これに伴い、2つのテストを行います。
①ホームページの表示を緊急災害時に切り替え 災害時でもスムーズに利用できるようなシンプルなデザインにします。
②やちよ情報メールに登録している人へ災害時用メールを配信 登録していない人もホームページから配信履歴が確認できます。登録方法は8ページに掲載しています。ぜひ、この機会にやちよ情報メールにご登録ください。
(広報広聴課)



第4回

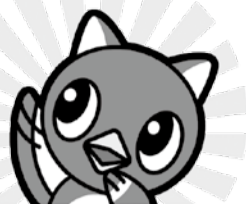
定例市議会の結果

28年度補正予算案など29案件を可決

【問い合わせ】予算案は財政課、その他は総務課 ☎483-1151(代表)

28年第4回定例市議会が11月30日から12月22日まで行われ、28年度補正予算案など市長が提出した31案件を審議し、29案件が原案通り可決・同意、2案件が不同意・不適任となりました。また、議員提出の議案7案件中1案件が可決されました。

※議案は法務課情報公開班でご覧になれます。



条例案

■八千代市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員に関する規定を整備するため、条例を制定。

■八千代市一般職員の給与に関する条例及び八千代市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に準じ、一般職員の給与の額を改定する等のため、条例を改正。

■八千代市税条例の一部を改正する条例の制定について 外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正等に伴い、条例を改正。

■八千代市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について 西八千代北部南地区及び西八千代北部駅周辺地区の地区計画の変更に伴い、建築物の敷地、構造及び用途に関する制限を設けるため、条例を改正。

■八千代市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について 産業競争力強化法の定義する創業者に対する融資制度の拡充を図るため、条例を改正。

■八千代市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び八千代市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について 地域密着型サービスの種類に地域密着型通所介護が加わったことに伴い、指定地域密着型通所介護の人員、設備及び運営に関する基準等を定める等のため、条例を改正。

予算案

■28年度八千代市一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ4億7,175万6,000円を増額し、総額を567億946万5,000円に。庁舎建替えに係る庁舎整備手

法等検討調査委託、国の第二次補正予算で成立した経済対策臨時福祉給付金に係る諸経費のほか、子ども医療費助成、生活保護費に係る扶助費など市民生活に係る緊急課題に対応するものです。

■28年度八千代市一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ7,218万6,000円を減額し、総額を566億3,727万9,000円に。給与改定等に伴う職員人件費の所要額の調整です。

■28年度八千代市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ517万1,000円を減額し、総額を228億1,973万8,000円に。

■28年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2,024万6,000円を増額し、総額を108億2,662万9,000円に。

■28年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ1,063万9,000円を減額し、総額を108億1,599万円に。

■28年度八千代市墓地事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ7,000円を減額し、総額を5,240万4,000円に。

■28年度八千代市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1,010万3,000円を減額し、総額を19億9,612万1,000円に。

■28年度八千代市水道事業会計補正予算(第1号) 資本的収入で5,307万5,000円、資本的支出で5,211万円を増額。

■28年度八千代市水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入で6万4,000円、収益的支出で252万9,000円を増額。資本的収入で3万2,000円、資本的支出で815万1,000円を減額。

■28年度八千代市公共下水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入で382万8,000円、収益的支出で425万5,000円を減額。資本的収入で1,077万8,000円、資本的支出で1,905万5,000円を減額。

その他

■指定管理者の指定について(八千代市福祉センター) 社会福祉法人八千代市社会福祉協議会を指定。

■指定管理者の指定について(八千代市ふれあいプラザ) 八千代未来創造グループを指定。



■「教育委員会委員の任命について」は撤回しました。

■指定管理者の指定について(八千代市立勝田台図書館) 株式会社図書館流通センターを指定。

■議決事件の一部変更について(有料公園施設) 指定管理者の指定の期間を平成30年3月31日までに変更。

■議決事件の一部変更について(八千代市知的障害者通所施設) 指定管理者の指定の期間を平成30年3月31日までに変更。

■議決事件の一部変更について(八千代市市民会館) 指定管理者の指定の期間を平成30年3月31日までに変更。

■議決事件の一部変更について(八千代市文化センター) 指定管理者の指定の期間を平成30年3月31日までに変更。

■財産の無償譲渡について(八千代市勝田青年館) 八千代市青年館設置及び管理に関する条例の廃止に伴い、青年館廃止後の建物の有効利用を図るため、地元自治会の勝田区に無償で譲渡。

■財産の無償譲渡について(八千代市小坂橋青年館) 八千代市青年館設置及び管理に関する条例の廃止に伴い、青年館廃止後の建物の有効利用を図るため、地元自治会の小坂橋連合町会に無償で譲渡。

■財産の無償譲渡について(八千代市下町青年館) 八千代市青年館設置及び管理に関する条例の廃止に伴い、青年館廃止後の建物の有効利用を図るため、地元自治会の下町町内会に無償で譲渡。

■路線の認定について 開発行為により築造された道路等及び橋梁長寿命化修繕事業として国庫補助金を受けて維持補修する道路を市道路線として認定。

■あっせんの申立てについて 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故による損害の賠償について、東京電力ホールディングス株式会社との交渉に進展が見込まれないため、原子力損害賠償紛争解決センターにあっせんの申立てを行う。

■「副市長の選任について」は不同意とされました。

■監査委員の選任について 大谷益世氏を選任することが同意されました。

■「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」は不適任とされました。

八千代市文化財通信「財やちよ」創刊
八千代市制施行50周年を記念して、八千代市の文化財についての情報をお伝えする「財やちよ」を創刊しました。教育総務課文化財班、郷土博物館、文化伝承館、図書館、公民館、支所などで無料配布。市HPからダウンロードもできます。詳しくは、教育総務課☎(481)0304へ

成人式に出席できなかった人へ
1月8日(日)の成人式に出席できなかった人に記念品(印鑑ホルダー)などをお渡しします。
成人式案内はがきをお持ちください。はがきを失くした人は、青少年課☎(481)0306へ。
▼期間 1月16日(月)～2月28日(火) ▼場所 教育委員会庁舎1階青少年課(月曜～金曜の午前8時30分～午後5時)または各公民館(第3日曜日・祝日を除く午前9時～午後5時。八千代台、八千代台東南、緑が丘公民館は第3日曜日を除く午前9時～午後9時) (青少年課)



募集 ふれあい大学の学生
ふれあい大学は、60歳以上の人を対象とした「学習の場」です。福祉センターを会場に、一般教養コース(午前10時～正午)と、健康福祉コース(午後2時～4時)を開催します。どちらも学習日は第2・4金曜日、修学期間は1年間、各コース抽選100人。詳しくは長寿支援課、支所・連絡所で配布する入学案内書をご覧ください。
▼対象 29年4月1日現在で60歳以上の市内在住の人(ふれあい大学卒業生は除く) ▼費用 無料 ▼申し込み 1月30日(月)までに、入学案内書に添付の願書を長寿支援課、支所・連絡所へ

募集 八千代市谷津・里山保全・活用推進会議の市民委員
谷津・里山を保全し、再生・活用するため市民委員を募集。
▼資格 市内在住の成人で、年1回程度平日昼間の会議に出席できる人。本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人
▼募集人数 2人 ▼任期 3月から3年間 ▼報酬 7000円/回 ▼応募方法 2月14日(火)必着で、任意のA4用紙(横書き)に、①住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、②「八千代市の谷津・里山とどのように関わっていききたいか」と題した800字程度の作文を添付し、〒276-1850 市役所環境政策室へ持参、郵送または市HP「市民委員の公募」から応募。※書類選考。応募書類は非公開、返却はしません。(環境政策室)

29年度分

市民税・県民税の申告

マイナンバー(個人番号)が必要になります

28年中に市民税・県民税の申告をした人などには、「市民税・県民税申告書」を1月26日(木)に送付します。各会場で申告・相談する人は、届いた書類を必ずお持ちください。

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の開始に伴い、29年度分市民税・県民税の申告に、マイナンバーが必要(申告の際の本人確認、申告書へのマイナンバーの記入)になりました。

本人確認

市民税・県民税の申告書を提出する際は、なりすまし防止のため、本人確認として、**番号確認**(正しいマイナンバーであることの確認)と**身元(実在)確認**(提供を行う者が番号の正しい持ち主であることの確認)を行います。

本人確認のための必要書類

市民税・県民税申告の際は、次の書類を必ずお持ちください。

①本人が申告に来る場合(図①)

- ・マイナンバーカードを持っている人：マイナンバーカードのみ
- ・マイナンバーカードを持っていない人：通知カードまたはマイナンバーが記載された住民票の写しと免許証などの本人確認書類

②郵送または支所・連絡所へ提出する場合

上記①「本人が申告に来る場合」の必要書類の写し
※記入済みの申告書を家族が提出する場合も同じです。

③代理人が申告に来る場合(図②)

- (1)本人の番号確認に必要な書類 (2)代理人の身元確認書類
- (3)代理人であることを確認できる書類

●提出期限 3月15日(水)まで

●申告場所 1月31日(火)まで 市役所3階市民税課
2月1日(水)から3月15日(水)まで 市役所第2別館1階
※2月16日(木)からは確定申告の受け付けも行うため、混雑が予想されます。2月15日(水)までの申告にご協力ください。

●問い合わせ

市民税・県民税について：市民税課☎047-483-1151(代表)
マイナンバー制度全般について：マイナンバー総合フリーダイヤル☎0120-95-0178

図① 本人が申告に来る場合の必要書類 ※いずれの書類も、原本をお持ちください。

マイナンバーカードを持っている人

マイナンバーカード
※「番号確認」と「身元確認」がマイナンバーカードのみでできます

マイナンバーカードを持っていない人

番号確認	身元確認
通知カード または 個人番号が記載された住民票の写し	写真付きの本人確認書類 運転免許証、写真付き住基カード、在留カード、障害者手帳、パスポートなどのうち 1点 または 写真付きでない本人確認書類 健康保険証、介護保険証、年金手帳、学生証などのうち 2点

図② 代理人が申告に来る場合の必要書類

本人の番号確認	マイナンバーカードの写し 通知カードの写し 個人番号が記載された住民票の写し	いずれか1点
代理人の身元確認	写真付きの代理人の確認書類 マイナンバーカード、運転免許証、写真付き住基カード、在留カード、障害者手帳、パスポートなどのうち 1点 または 写真付きでない代理人の確認書類 健康保険証、介護保険証、年金手帳、学生証などのうち 2点	
代理権の確認	法定代理人の場合、戸籍謄本などのその資格を証明する書類 または 任意代理人の場合、委任状など、本人が指定した事実を確認できる書類	

千葉西税務署からのお知らせ

問い合わせは千葉西税務署☎043-274-2111(代表)へ

1. 確定申告書を発送します

27年分の所得税の確定申告書を提出した人に、「確定申告書」や「確定申告のお知らせ」を、1月下旬に発送します。各会場で申告・相談をする人は、届いた書類を必ずお持ちください。また、本人確認書類(番号確認書類と身元確認書類)の提示または写しの添付も必要です。

2. 税理士による無料申告相談

所得税の確定申告書の作成相談ができます。

日時	場所
2月2日(木)・3日(金) 午前9時30分～正午/午後1時～4時	勝田台文化センター(勝田台2-5-1)
2月8日(水)・9日(木) 午前9時30分～正午/午後1時～4時	八千代台文化センター(八千代台西1-8)

【注意事項】

- ・会場外で作成した申告書の提出は受けられません。千葉西税務署へ提出してください
 - ・土地建物、株式などの譲渡所得がある場合、住宅ローン控除の適用を受ける場合、所得金額が高額な場合、税理士に依頼している場合などは相談できません
 - ・会場が混雑した場合、受け付けを早めに締め切ることがあります
 - ・会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください
- (市民税課)

募集 八千代市子ども子育て会議の市民委員

子ども・子育て支援に関する施策の推進や実施状況について調査審議するための市民委員を募集します。

▼応募資格 市内在住の成人で小学生以下の子どもの保護者または子ども・子育てや子育て支援に関心がある人。年数回の平日昼間の会議に出席できる人。本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人。▼募集人数 5人 ▼任期 4月1日から2年間 ▼報酬 7000円/回 ▼応募方法 A4用紙に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号・生年月日・性別・主な職歴と現在の職業・子どもに関する支援活動の経歴・応募の理由(子どものいる保護者は、子どもの氏名・生年月日)を記入し、「子どもや子育て支援に関する考えや意見について」と題した800字程度の作文を添付し、〒276-1850 1市役所子育て支援課へ持参、郵送または市HP「市民委員の公募」から応募。2月13日(月)必着。※書類選考。応募書類は非公開、返却しません。(子育て支援課)

募集 講演会「成年後見制度と遺言・相続について」

八千代市、市社会福祉協議会共催。先着120人。

▼対象 市内在住または在勤の人 ▼日時 2月7日(火)午後1時30分～3時30分 ▼場所 福祉センター ▼申し込み 1月31日(火)までに氏名、電話番号、参加人数を電話、ファクスまたはメールで社会福祉協議会後見支援センター係☎(483)3021 FAX(483)3088 E-mail: fyc-hp@fukushu.yachyo.chiba.jp (福祉総合相談室)

パブコメ 都市計画道路の見直し方針及び優先度評価(案)に対する意見

「八千代市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、都市計画道路の見直し方針及び優先度評価(案)に対する意見を募集します。意見を提出できる人は、市内在住または在勤・在学の人、市内に事業所を有する人、当該事業に利害関係を有する人です。※意見に対する個別回答は行いません。

▼募集期間 1月18日(水)～2月17日(金)必着 ▼公表場所 都市計画課、法務課情報公開班、支所・連絡所、公民館、図書館、市HP ▼意見の提出方法・送付先 募集期間中に公表する募集要項に記載 (都市計画課)

29年第1回臨時会は1月23日(月)開会予定

1月臨時会は、1月23日(月)午前10時に開会する予定です。会議の日程などは、開会予定日の約1週間前に決定されます。

■インターネット中継 本会議を市HPで生中継します。通常は会議の翌日(土曜・日曜を除く)から録画中継でも見られます。詳しくは、議会事務局☎(483)1151へ (議事課)



奥山 智さん (課長在籍期間 昭和47年～56年)



現在の女性版は、昭和49年に「奥さま版」として誕生しました。市民、それも女性目線で社会や生活について考える企画があってもいいのではと、編集会議で話が持ち上がり、形になりました。

当時の広報やちよは、現在の広報紙より小さいA4サイズで、モノクロ印刷のもの。夜中まで印刷に立ち合うこともありました。

奥さま版が始まった頃の編集委員

は、消費生活モニター3人、広報モニター2人の5人構成。消費生活を考えるために消費生活モニターを選んで、食品などの商品を調べることから始まりました。当時は、オイルショックで物価が高騰したり、商品の質や安全性などが注目され始めた頃。マスコミよりも早く、市民に食品の選び方や、バーゲン情報、スーパーの売り出し日などの特集を組んで、市の広報に載せていました。

この頃の八千代市

オイルショックが起きるなど、普段の消費生活を見直す機運が高まっていました。

市制施行 10周年 (昭和52年)



高津団地、米本団地といった公営団地への入居開始(昭和45年～46年)

住民登録人口 10万人を突破 (昭和48年)



市民会館が完成 (昭和48年)

当時の奥さま版



昭和49年11月15日号 No.1 「消費について考える」

奥さま版第1号。気を付けた方がいい商法や、良い食品の選び方など、生活と密接に関わる「消費」についてまとめた特集になっています。

昭和53年11月1日号 No. 11

「お母さん、病気やお出かけのとき、お子さんをどうしていますか」



お母さんが病気などになったとき、近くに親類がいない場合、家事や育児をどのようにしているのでしょうか。実際に市内のお宅を訪ね、お母さんにお話を伺いました。

市制施行50周年記念

「広報やちよ奥さま版」振り返って



昭和55年12月1日号 No.17

「食品添加物を考えようインスタント食品と清涼飲料水」

便利、安い、腐らない、美しいといった理由で、安易にインスタント食品を飲食していないでしょうか。即席中華麺と清涼飲料水を取り上げ、食品添加物の問題点と対策を考えてみました。

親子橋(新川大橋、なかよし橋) 開通(昭和59年)



土屋 吉弘さん (課長在籍期間 昭和59年～平成6年)



当時の奥さま版では、時代背景もあり、「食品の添加物への興味」や「冷凍食品の品質についての考察」、「食の安全と健康」について考えるようなテーマが取り上げられました。また、健康診断で判明する病気や結果の見方、ホームドクターなどもテーマになっていました。

当時はコンビニなどがほとんどなかったようですが、自動販売機がいくつもまとまって置いてある場所に暴走族

が集まり、周囲の人たちから苦情が出ていました。暴走族になるような青少年が何を考え、なぜ集まって走りたがるのかをテーマに取材したことが印象に残っているそうです。

奥さま版が米本空襲を特集したことがきっかけで、昭和62年には、「市民の戦争体験記録集・あの日から」を発行。日本で初めて自治体が本を発行したと話題となり、テレビ局が取材に来ました。

この頃の八千代市

昭和から平成へ。事業の民営化が進み、バブル景気の盛衰がありました。

住民登録人口 15万人を突破 (平成3年)



アメリカ合衆国テキサス州タイラー市と国際姉妹都市提携(平成4年)

昭和61年 「八千代」

34 米本空襲 八千代

250キロ爆弾



菅井 茂穂さん
(課長在籍期間 平成14年～15年)



一番印象深いのは、編集に携わった昭和56年11月1日号「暴走族と自動販売機から少年非行を考える」。奥さま版記者と一緒に夜の街に出て、少年たちの話を聞きに行きました。発行する際に、さまざまな反響がありましたが、社会へ疑問を投げかけた特集は、当時、自治体広報誌として新しい試みだったようです。

奥さま版で一番苦労したのは、テーマをどのように設定するかということ。社会情勢を見据え、問題意識を持って考えること、単なるお

知らせにとどまらず、いかに読者の理解につなげていくかを常に考えながら編集にあたっていました。

市民目線、女性目線で社会情勢を見て、自分たちと違った切り口で問題提起していくために、奥さま版・女性版は重要な存在です。

市民活動サポートセンター
開設(平成14年)



八千代市子ども憲章制定
記念大会



この頃の八千代市

アジア初のサッカーワールドカップ開催、イラク戦争勃発など世界の変動が目撃された時期でした。

八千代ファミリー・サポート・センター開設(平成12年)
八千代市子ども憲章制定(平成13年)

当時の女性版



平成14年8月1日号 No.81

「調べてみました 梨のあれこれ」

本市の特産物といえば「梨」と多くの人が答えると思います。この号の女性版では、梨業組合の皆さんにお話を伺い、おいしい梨の選び方や、本市の梨の歴史、栽培の過程などをまとめました。



平成15年8月1日号 No.84

「省エネで環境にも家計にも優しい生活を」

テーマは「省エネ」。平成15年の夏は原発の点検が重なり、電力不安が世間に広がった年でした。「省エネってよく聞くけど、実際はどうしたらいいのか」という話が主婦の間でも話題に。生活を見直して、できるところから省エネにチャレンジ!

広報やちよ 女性版

No.133

公募して選ばれた編集委員が企画・構成・編集するページです
編集委員
関口 理子/高松 紀美子/夏戸 夕起

「奥さま版・女性版」を

「広報やちよ女性版」の前身、「広報奥さま版」は昭和56年に始まりました。その後、平成9年に「女性版」と名前を変え、現在に至っています。これまで市民の皆さんの協力を得て、回を重ね、132回を発行しました。

今回はこれまでの担当課長に取材した話や写真で、「奥さま版・女性版」、そして本市の歩みを振り返ります。お問い合わせは広報広聴課 483-1151(代表)へ。

当時の奥さま版



昭和56年11月1日号 No.20

「暴走族と自動販売機から少年非行を考える」

非行で補導される少年の数がどんどん増加していきました。暴走族に話を聞きに行ったり、当時、急激に増えた、成人を対象にした雑誌の自動販売機の実態を調査しながら、母親の目線で少年非行について考えました。

前年の昭和60年に、本市の子どもたちが広島の平和記念公園などを見学。市民会館前にも平和記念碑を建立することになりました。本市での戦争体験を後世に語り継ぐため、奥さま版でも「米本空襲」を追跡調査しました。



本市の戦争体験記録集
「あの日から」

8月15日号 No.34

心にもあった戦争の傷跡 ～米本空襲を追跡調査～



編集後記



関口記者

代々の奥さま版記者たちが、どんな思いでテーマを選び、記事にしていってか。それを考えることは、女性たちがどんな時代を生きてきたかを考えることです。活字になった一枚一枚がいとおしく、大切なバトンを渡された気持ちになった取材でした。



夏戸記者

今のように情報が溢れていない時代に、市の広報紙がこれだけの情報を市民に届けていたのは、とても面白いと思いました。情報源が少ない時代、各家庭にとっては必要なものだったのではないのでしょうか。



高松記者

本市の奥さま版をきっかけに、当時テレビから取材を受けたことを聞いて驚きました。オイルショックなど、奥さま版は目まぐるしく変遷する時代に生まれ、市民の知りたいことをテーマに、生活者目線を通して歩み続けてきたように思います。

情報ぎゅらりー

市役所 〒276-8501 大和田新田 312-5
☎483-1151 (代表)

阿蘇公民館が臨時休館します

阿蘇公民館は館内改修工事のため、2月1日(水)～3月31日(金)は臨時休館します。以下の業務も停止します。

▶図書室の本の貸出返却 ▶図書館の貸出返却サービス ▶各リサイクル品の回収は1月26日(木)まで受け入れます

なお、休館中は村上公民館に電話は転送されます。お問い合わせは阿蘇公民館☎488-1185へ。

※図書館の貸出返却サービスについては、中央図書館☎486-2306へ。

保険料の納付済確認書を 送付します

次の保険料納付済確認書(28年中に納めた保険料額を確認するもの)を1月下旬にそれぞれ送付します。

※年金から保険料が天引きされている人は、年金機構などから送付される源泉徴収票を確認してください。ただし、障害年金や遺族年金から保険料が天引きされていて、申告などに必要な場合は各担当課へご連絡ください。

■国民健康保険料(国保年金課)

▶対象 普通徴収で保険料を納めた人または昨年中に年金から天引きされた保険料の一部が還付された人

■介護保険料(長寿支援課)、後期高齢者医療保険料(国保年金課)

▶対象 市民税・県民税を課税され、保険料を口座振替で納めた人または昨年中に納めた保険料の一部が還付された人

医療費が高額になる人へ

国民健康保険に加入している70歳未満か70歳以上で住民税非課税世帯の人で、入院・外来診療で医療費が高額になる場合、事前に限度額適用認定証の交付手続きを行い、医療機関などに提示すると医療費が自己負担限度額までとなります。また、住民税非課税世帯の人は、入院時の食事代も減額されます。(差額ベット代など保険適用外の医療行為は対象外) (国保年金課)

夜間・休日 急病診療

◆急病のときは、まず、当番医で受診を

【テレホン案内】

月～金曜日 19:00～翌8:30
☎482-6870

土曜日 17:00～翌8:30
☎482-6871

日曜日・祝日 年末年始 8:30～翌8:30
☎482-6872

※小児科・その他の科目・歯科は、日曜・祝日・年末年始の8:30～17:00のみ

つながらないときは、市役所☎483-1151か消防本部☎459-2441へ。当番医は、市ホームページでも見られます

【やちよ夜間小児急病センター】
東京女子医科大学八千代医療センター内
毎日18～23時 ☎458-6090
※23時以降は☎450-6000へ

【こども急病電話相談】
お子さんの急病時、受診が必要と判断に迷う時に看護師や小児科医が相談に応じます。
毎日19～翌朝6時 局番なしの☎#8000
※ダイヤル回線、IP電話、光回線からは☎043-242-9939へ

国民年金の加入は20歳から

国民年金は病気やけがで働けないときや、高齢のため収入を得ることが難しいときに生活の基礎となる費用を支給する制度です。日本に住む20歳～60歳の人に加入が義務付けられています。20歳になる誕生月に年金事務所から送られてくる加入届を国保年金課、支所・連絡所に提出してください。1か月ほどで年金手帳と保険料の納付書が年金事務所から送付されますので、納付書に記載の方法で保険料を納付してください。28年度の保険料は月額1万6,260円です。(国保年金課)

募集 母子保健推進員

母子保健推進員は、市長から委嘱を受け、「楽しく安心して子育てできるまちづくり」を目指し、市の保健師と協力しながら活動する地域のボランティアです。生後2～3か月児のいる家庭の訪問をはじめ、地域グループごとの自主的な活動も行っています。

▶応募資格 育児経験があり、次の地区またはその周辺に住んでいる人(ゆりのき台、大和田、八千代台東、八千代台南、高津、上高野・勝田台地区)

▶応募方法 電話で母子保健課☎486-7250へ

募集 博物館資料調査研究員

資料の整理・調査・研究・管理および展示や講座の企画・実施を行います。

▶資格 4年制大学で歴史学・民俗学などを専攻・卒業した人。博物館学芸員資格取得者が望ましい ▶募集人数 1人 ▶勤務日 29年4月1日～30年3月31日のうち週4日 ▶時間 1日7時間(午前9時～午後5時) ▶報酬 月額14万円。通勤手当、諸控除あり

▶応募方法 2月5日(日)午後5時までに履歴書・論文・経験などの書類を直接郷土博物館窓口へ。募集要項は同館☎484-9011で配布

洗濯表示が変わりました

衣類の洗濯方法などの「取扱表示」が28年12月から変わりました。従来の表示を使った衣類などは、当面販売されますが、順次切り替えられます。

新しい取扱表示は、世界共通の国際規格(ISO)で、記号の種類も増え、

募集 「地球こやちよ書いっ方」講座の参加者

家庭で実践できる環境にやさしい料理講座を開催します(講師は大多喜ガス(株)。きのこのクリームソースのペンネ、イタリアンたまごスープを作ります。環境のために、私たちができることを一緒に考えてみませんか。成人対象。先着16人。エプロン、三角巾、タオル、筆記用具持参

▼日時 2月10日(金)10時30分～13時(10時15分から受け付け) ▼場所 緑が丘公民館 ▼費用 500円(材料費) ▼申し込み 1月16日(月)から2月3日(金)までに電話で環境保全課へ

より細かな表示になります。詳しくは、広報2月1日号でお知らせします。

(消費生活センター)

ご協力ありがとうございます

28年度の日本赤十字千葉県支部八千代市地区における活動資金の募集について、多くの皆さんにご協力をいただきありがとうございます。寄せられた総額579万2,699円(12月末現在)は、災害救護や献血事業などの赤十字事業資金として有効に活用します。

(健康福祉課)

市スポーツ指導員認定講習会

会場は総合生涯学習プラザ。※いずれも30分前から受け付け。

▶日程/内容 ①2月4日(土)午後2時から/茨城県障がい者スポーツ指導者協議会会長兼スペシャルオリンピックス日本・茨城会長の及川力さんによる講演「障がい者スポーツについて」 ②2月11日(土)午後6時/聖隷佐倉市民病院リハビリテーションセンター長兼主任医長による講演「スポーツ障害について」 ③3月4日(土)午後6時/順天堂大学スポーツ科学科教授による講演および実技指導「正しいストレッチについて」 ④3月11日(土)午後6時/ハウス食品グループ本社株式会社新規事業開発部チームマネージャーによる講演「食育について」 ※①は指導員希望の人以外も参加可 ▶問い合わせ 市体育協会事務局☎483-5415※火曜～金曜日の午前10時～午後4時 (文化・スポーツ課)

火災・救急時には **119** 番

救急車の適正利用にご協力ください

出動件数	12月	1～12月
救急	811件	8,964件
火災・その他	78件	849件

火災場所の問い合わせは☎459-0119へ

1月の納期

納期限は1月31日(火)

納め忘れのない口座振替が便利です

市民税・県民税	4期
国民健康保険料	7期
介護保険料	7期
後期高齢者医療保険料	7期

千葉県特定(産業別)最低賃金が改正されました

28年12月25日から、県内の調味料製造業や鉄鋼業など、特定7業種の事業所で働く労働者に適用される「千葉県特定(産業別)最低賃金」が改正されました。詳しくは千葉労働局労働基準部賃金室☎043-221-2328または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。(商工課)



保健

保健センター
〒276-0042 ゆりのき台2-10
母子保健課 ☎486-7250
健康づくり課 ☎483-4646

母子保健課 1歳6か月児・3歳児健康診査

お子さんの発育・発達や生活習慣、子育ての状況などを、かかりつけの医師と確認する大切な機会です。ぜひ診査を。対象者には通知します。転入などで通知が届かない場合にはご連絡ください。▶対象 1歳6か月児健康診査は1歳6か月～2歳未満、3歳児健康診査は3歳4か月～4歳未満です。※1歳6か月児健康診査の歯科健診は1歳10・11か月に保健センターで行います。日程は、別途お知らせします。

産後ケア事業

出産後2か月未満で、家族などから十分な家事や育児などの援助が受けられず、心身の不調や育児等に不安があり支援を必要とする母子を対象に、産後ケア事業を実施施設に宿泊や通所で、お母さんと赤ちゃんのケアや育児相談などができる「宿泊型」、「デイケア型」と、自宅にヘルパーを派遣してもらい家事や育児のお手伝いをしてもらう「ヘルパー型」があります。所得に応じた自己負担あり。詳しくは母子保健課へ

健康づくり課 やちよ元気体操 応援隊養成講座

体操のポイントと体操を、地域の仲間と一緒に学ぶ方法について学ぶ講座です。やちよ元気体操をしっかりと学んでみたい人、地域の仲間と健康の維持・

- 19日(木)午前10時～11時45分 午後1時～4時、八千代市役所(八千代市献血推進協議会主催)
- 28日(土)午前10時～11時45分 午後1時～4時、フルルガーデン八千代(八千代市献血推進協議会主催)

防災無線自動電話応答サービス

☎0120(970)9111 (通話無料)

24時間以内の防災無線放送の内容を確認できます

ミニガイド

千葉県地球温暖化防止活動推進員募集 地球温暖化防止対策の知識の普及・推進に取り組みするため「地球温暖化防止活動推進員」を募集します。委嘱期間は、29年4月～34年3月の5年間。応募要件など詳しくは、県ホームページまたは千葉県地球温暖化防止活動推進センター☎043(246)21800へ

増進に取り組みたい人はぜひご参加ください。先着30人 ▶日時 2月1日・8日・15日のいずれも水曜日午後2時～4時 ▶場所 保健センター ▶申し込み 1月16日(月)から電話で健康づくり課へ

歩く「姿勢」からキレイをつくろう！美姿勢ウォーキング講座

美しい姿勢は代謝を高め、太りにくい体づくりにもつながります。ウォーキングや体幹のトレーニングを通じて、キレイを維持する方法を体感しませんか。運動に関心のある市民対象。先着30人 ▶日時 【1回コース】2月18日(土)午前10時～11時30分 【2回コース】2月16日・23日のいずれも木曜日午前10時～11時30分 ▶場所 市民体育館柔道場 ▶持ち物 飲み物、フェイスタオル、内履き、ビニール袋(外履き入れ) ▶申し込み 電話で健康づくり課へ

野菜deビューティーライフ

野菜たっぷりの食事は生活習慣病の予防だけでなく、体の中からきれいに、元気に過ごすために大切です。おいしく食べて体の中からきれいに過ごすコツを伝えます。減塩メニューの紹介や試食もあります。先着24人 ▶日時 2月15日(水)午前9時30分～正午 ▶場所 保健センター ▶持ち物 飲み物 ▶申し込み 1月16日(月)から電話で健康づくり課へ

生涯学習

特に表示されていないものは受講無料です。詳しくは各主催者に問い合わせください。

公民館 睦公民館 450-2390 ◆手前味噌づくりにチャレンジ・全2回 味噌の効能を知り、自分だけの味噌を作ります。市内在住か在勤の成人対象。先着12人 1月27日(金)・31日(火)午前10時～正午 3,000円(材料費・保険代) 1月16日(月)午前9時から電話か直接同館窓口へ

図書館 緑が丘図書館 489-4946 ◆季節を彩るクラフト講座⑥ 折り紙を組み合わせて、素敵なギフトボックスを作ります。市内在住の成人対象。先着16人 2月3日(金)午後1時30分～3時30分 所緑が丘プラザ 1月18日(水)午前9時から電話か直接同館窓口へ

図書館 緑が丘図書館 489-4946 ◆季節を彩るクラフト講座⑦ 蛤や布、和紙を使って、春らしいお雛様の色紙を作ります。市内在住の成人対象。先着16人 2月9日(木)午前10時～11時50分 所緑が丘プラザ 1月19日(木)午前9時から電話か直接同館窓口へ

勝田台図書館 484-4946 ◆おはなし会 絵本の読み聞かせなど。4歳～小学生対象。先着30人 毎週水曜日午後3時～3時30分(2月22日(水)は休み) 当日直接同館窓口へ

文化伝承館 458-1700 ◆八千代の伝承文化を習おう物づくり編⑤ 「お雛さまづくり」和紙でかわいい立ち雛を作ります。小学生以上対象(小学生は保護者同伴)。先着15人 2月4日(土)午前10時～正午 300円(材料費) 電話か直接同館窓口へ

少年自然の家 488-6538 ◆春の親子ふれあい自然体験教室 野外炊事やクラフト制作などを通して、親子の絆を深めます。市内在住の小・中学生とその保護者対象。20組(抽選)※最大8人 3月18日(土)午前9時30分～19日(日)正午(1泊2日) 1人2,600円(食費、保険など)※3月10日(金)以降キャンセル料あり 2月17日(金)必着で、往復はがきに住所、参加者の氏名(フリガナ)、電話番号、年齢、性別を書き、〒276-0013保品1060-2同所へ郵送



郷土博物館 484-9011 ◆伝統装束体験講座 日本の伝統装束(女性の十二単、女官装束、男性の束帯、貴族装束、甲冑など)を試着します。16組(抽選)※最大5人、1人1着まで 2月5日(日)午前9時40分～午後4時の指定された20分間 1人500円 1月30日(月)消印有効で往復はがきに住所、氏名、年齢、代表者の電話番号・午前か午後またはどちらでも可を書き、〒276-0028村上1170-2同館へ郵送

市民ギャラリー 406-4116 ◆絵画教室・全3回 連続受講でレベルアップを目指します。18歳以上対象。先着10人 1月17日、2月7日、3月7日のいずれも火曜日午前10時～正午 5,000円(3回分) 電話か直接同館窓口へ

◆アートの楽しみ方講座 写真家の植村正春さんが写真の世界を語ります。18歳以上対象。先着50人 1月21日(土)午後2時～3時 電話か直接同館窓口へ

農業交流センター 406-4778 ◆チョコレートケーキ作り教室 カカオ豆からチョコレートを作り、濃厚チョコ



レートケーキを焼きます。ケーキは持ち帰れます。先着16人 2月12日(日)午前10時30分～午後1時 1,800円 電話で同センターへ

◆体内デトックス!塩抜き料理教室 塩を全く使わずに、素材の味を引き出す料理を作ります。先着16人 2月4日(土)午前10時30分～午後1時 1,800円 電話で同センターへ

地域子育て支援センター ◆子育てワークショップ「おしゃべり広場」子育てに関することを保護者同士でおしゃべりしませんか。保育あり、要予約。【すてっぷ21大和田】486-7455 きょうだいの子育て、どうしてる?/1月25日(水)午前10時15分～11時45分

生涯学習振興課 481-0309 ◆市民カレッジ「健康講座～初めてのピラティス～」全3回 体幹、骨盤へのアプローチで腰痛や肩こりの改善を目指します。市内在住か在勤の人、先着30人 2月2日・9日・16日のいずれも木曜日午後1時～2時30分 所総合生涯学習プラザ 1月16日(月)から電話で同課へ

総合グラウンド 484-4222 ◆ガールズサッカー教室 年代別の技能講習会もあります。市内在住か在勤・在学の小学生以上でサッカーに興味のある女性対象(中学生以下は保護者同伴)。先着200人。小雨決行 2月11日(祝)午前9時～正午 100円(保険料込) 2月5日(日)までに氏名、年齢、電話番号、行事名を電話またはメール



field@ycp.or.jpで同グラウンドへ

◆社会人サッカートーナメント 市内小学校～高校の卒業生が半数以上で市内在住か在勤・在学の社会人で構成されるチーム対象(1チーム30人まで)。【一般の部】(16歳以上、11人制、先着16チーム)、【シニアの部】(40歳以上、8人制、先着8チーム)。※参加チーム数が少ない場合はリーグ戦 2月25日(土)・26日(日)、3月11日(土)・19日(日)・25日(土)午前9時～午後5時 1人400円(保険料込) 1月29日(日)までに大会名、種目、チーム名、代表者連絡先を電話かメールfield@ycp.or.jpで、同グラウンドへ。代表者は、2月12日(日)午後6時から教育委員会で行う代表者会議に参加してください。

けんこうかんりコーナー

HPVについて

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(Human papillomavirus: HPV)という皮膚や粘膜に感染するウイルスで100種類以上のタイプが存在します。その中でもハイリスク型HPVというものが子宮頸がんの原因になると考えられています。

多くは性交渉により感染します。したがって過去に一度でも性交渉の経験がある人ならば誰でも感染の可能性があると言えるでしょう。非常にポピュラーな性感染症で、風邪のウイルスのようなものです。

一度感染したHPVはほとんどが一時的な感染で、その人の免疫力で自然に体内から排除されます。またハイリスク型HPVに感染しているからといって必ず子宮頸がんになるわけでは

八千代市医師会 前田産婦人科 小平博



ありません。やはりほとんどが自然消滅してしまいます。子宮頸がんの原因はハイリスク型の持続感染で、平均で10年以上の長い期間を経て子宮頸がんになる可能性があるのですが、この場合も必ずしも全員がなるわけではありません。

大事なことは性交渉の経験がある方は2年に1度は子宮がん検診を受けることです。検診によってがんになる前の状態(前がん状態)を発見し、早期治療が可能となります。

婦人科系の検診は、女性にとって気が滅入る事が多いのは事実です。しかし自分の体を守るの自分だけです。自分のために、そして家族や友人のために、検診はきちんと受けて健やかな毎を送りましょう。

●習志野八千代心の健康を守る会から ①情報交換会「介護者と障害のある方の高齢化について」、1月27日(金)13時30分～14時30分 ②講演会「日頃の困りごとを家族SSTで相談してみよう」、2月24日(金)13時30分～15時40分 ③情報交換会 3月24日(金)13時30分～15時40分、いずれも習志野健康福祉センター。家族会事務局 476-2158

●第3回シンポジオス・アート展(障害のある人たち)の美術展 八千代中央ライオンズクラブ主催。1月28日(土)11時～17時、ユアエルム八千代台店3階エルムスペース。友愛みどり園・奥山画(458) 7477

●子どもネット八千代より ①幼児低学年向けお芝居 劇団風の子「なんかよーかい」。1月29日(日)14時開演、勝田台文化センター。3000円 ②はじめての馬頭琴コンサート 2月26日(日)10時30分開演、勝田台文化センター ③ホケキョ影絵芝居「泪鬼」。小学校高学年対象。3月12日(日)16時開演、「耳なし芳一」、中学生以上対象。18時30分開演、いずれも勝田台文化センター。3000円 ④劇団風の子探偵ごっこ&異年齢交流「春の宿泊体験」(1泊2日)、3月28日(火)・29日(水)。小学校3年生～6年生対象。手賀の丘少年自然の家。4500円。申し込みは平日10時～16時に電話で同事務局 486-4699へ

●やってみよう！視覚障害者サポート体験講座・全5回 ガイドヘルプや朗読、点字の体験。先着20人。2月1日～3月1日の毎週水曜日13時30分～15時30分、八千代市障害者福祉センター。5000円。申し込みは(備)八千代市身体障害者福祉会 485-1245へ



市民伝言板

19万人のひろば



図書館を使った調べる学習コンクール表彰状授与式



中央図書館長から受賞者に表彰状が授与されました▶



11月23日、「第1回八千代市図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰状授与式が市民ギャラリーで行われました。このコンクールには、市内の小中学校28校の児童生徒が、夏休みなどに取り組んだ自由研究などで調べた結果をまとめた作品など1,503点を応募。その中から、館長賞4点と優秀賞26点、優秀クラス賞2校が選ばれ、表彰されました。館長賞と優秀賞の30点は第20回全国コンクールに出品されます。

夢まる防犯パトロールカーの寄贈を受けました

(株)千葉日報社、千葉テレビ放送(株)、(株)ベイエフエム、千葉県遊技業協同組合で構成された「夢まるふぁんど委員会」による事業の一環として、八千代市を含む4市1町に軽自動車の防犯パトロールカー(青パト)が寄贈され、11月9日に県庁前で寄贈式が行われました。



▲寄贈されたパトロールカー

青パトは市内の防犯活動に役立てられます。



「第5回健康寿命をのばそう!アワード」で優良賞を受賞

健康寿命をのばすための優れた取り組みを行っている企業・団体・自治体に対して、厚生労働省が表彰する制度「健康寿命をのばそうアワード」。11月14日、介護予防・高齢者生活支援分野自治体部門で、本市の「やちよ元気体操」を取り入れた住民主体の介護予防の取り組みが、厚生労働省老健局長優良賞を受賞しました。

元気体操は応援隊が中心となり、地域の皆さんと共に自治会館や公園などで定期的に行われているほか、健康づくり課主催の「お試し体操広場」も月2回実施中。体操のふれあい編は、かんたん動画やちよニュースクリップ28年7月号でも紹介しています。



八千代台駅西口・北本通りで「BOOK STREET 秋の本祭り」

11月27日、八千代台駅西口の北本通りで、「BOOK STREET 秋の本祭り」が開かれました。このイベントは、空き店舗が目立つ北本通りの新たな魅力づくりにチャレンジしようと、「八千代台まちづくりプロジェクト」が中心となって開催したもので、当日は多くの人々が歩行者天国となった会場を訪れ、本であふれた非日常的な空間に関心を寄せて、本を取っていました。また、多くのパフォーマーによる演技や飲食ブースが会場を盛り上げていました。

次回は「春の本祭り」を3月26日(日)に開催予定です。



▲「八千代市最大の本の交換市」が行われました

中高生が「未来市長」になって提言 やちよ未来ワークショップ

▶付箋にアイデアを書き、みんなで分類作業を行いました



11月23日、市民会館で「やちよ未来ワークショップ」が行われました。公募で集まった市内在住・在学の中高生20人が参加。自分たちが2040年に市長になっているという設定で、未来市長の立場から現市長に対する政策提言を行いました。

当日は、市の産業・歴史などに関する説明を受けた後、将来、市が直面するであろう課題やその課題に対する提言についてグループで自由に議論を展開。「コンビニをコミュニケーションの場に」「高齢者のシェアハウスを作ってみてはどうか」といった、柔軟な発想を持つ若者らしい提言が出されました。

やちよ情報メール

(防災・防犯・環境・火災・イベント・徘徊高齢者等・健康・市政) 登録申し込みは 8/yachiyo@sg-m.jpへ



リサイクル・ガイド

消費生活センター 485-0559

●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時(午後4時～5時は483-1151へ)。

- 市内在住の人対象。企業・営利団体は利用できません。【あげます】▶子ども用学習机用イス(木製) ▶スロープ用ブリッジ(アルミ製、バイク・耕運機など用) ▶インバーター天井照明 ▶ファクス電話機(子機1台付き) ▶三輪自転車/18インチ(新品) ▶石油ファンヒーター(コロナ製、ポリタンク4個付き) ▶ペルシャ絨毯/2m45cm四方 ▶油絵額縁50号(未使用)

- 【ゆずります・有料】▶ランドセル(赤色・牛革製・未使用) ▶家庭用超短波治療器(セルウォームDX/マルタカ製) ▶座卓(117cm×82cm×高さ32.5cm) 【ゆずって・有料】▶犬・猫用カート ▶子ども用スケートボード(前後一輪ずつのもの) ▶レゴブロック ▶電気ストーブ(ハロゲンライト) ▶ダイニングテーブル(イス付き、2人用)

八千代歌壇

佐波 洋子選

ゆつくりと壊れてゆくも味なると湯呑の糸を慈しみをり (八千代台西) 元村 泰介

自転車の籠にかまきり留まりいて虫と連れ立ち歯医者に向 (大和田) 紺野 正勝

三十年を庭に咲きつく秋海棠健やかにし妣の声のせ (村 上) 新井 豊子

マッターホルンを背にしてスキーをしたりけり思いを残す (八千代台西) 吉田 早苗

何ものもなし (八千代台西) 吉田 早苗

古稀近き恋はアクセル見当らずブレーキばかり風を待つ萩 (勝田台北) 田巻 幸生

お社の大いちょうの樹鎮もりて神坐すがに黄金の輝き (八千代台南) 一戸 光代

作品も演技も心弾ませる公民館祭八千代市の秋 (八千代台北) 石川 静子

筆を持つ吾の目交黄の小蝶左右へ巡る静けき朝 (勝田台) 鈴木 悦秀

選評 「一首目、「味なると」は言わずに読者に任せ、結句は「双手に包む」あるいは「なぞる」等と行動の具体で出したが一首の人生的な滋味が魅力。二首目、発見の良さと作者の行動のリアルさが楽しい。本来億劫な歯科医院への道中が活き活きと楽しく伝わる。二句以下「籠に留まるかまきりと連れ立ち向かう歯科医院に」等参考に。三首目、母との思い出を繋ぐ秋海棠。この花が咲くと在りし日の元氣だった母の音が聞こえて来るという感覚は理屈でなく温かく懐かしい。

【投稿方法】 はがきに未発表の短歌(一枚に三首まで)、住所、氏名を書き、〒276-1850-1市役所広報広聴課短歌係へ郵送してください。締め切りは月末です

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

一等の玉よ出て来いまわすクジ村 上 増川みずえ

のんびりと性格が出る緩やかさ 村上団地 阿部ちえこ

本心は漏らすまいぞと腹話術 八千代台北 小川 剛毅

逝く時はありがとつて言つつもり 大和田 関川由美子

言つてよし言わなくてよしお節介 緑が丘 黒木 麗

歳忘れ伊達の薄着で風邪を引く 緑が丘 桃井 もも

おばやんの手書きの年賀宝物 萱田町 藤田 勇

洋食も老いのラストは宇治のお茶 緑が丘 日名 光一

医学書の通りにならぬ薬漬 勝田台 福島 つぐ

薬より効いたあなたのマッサージ 村 上 菊田差知子

【投稿方法】 はがきに未発表の川柳(一枚に二句まで)、住所、氏名を書き、〒276-1850-1市役所広報広聴課川柳係へ郵送してください。締め切りは月末です



広報やちよは、市ホームページでも見ることができます(PDF版)